

## 抗凝固薬内服者における大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) 後出血に関する多施設共同後ろ向き研究

### 1. 研究の対象

抗凝固薬内服者の内、2012年4月から2017年12月の間に当センターで大腸腫瘍（カルチノイドは除く）に対して内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) を行った方で抗凝固薬を内服している方。

### 2. 研究目的・方法

#### 「目的」

大腸 ESD 後出血の高リスクと考えられる抗凝固薬内服症例での後出血について後方視的に検討する。

#### 「方法」

対象患者さんのカルテ情報により必要項目の調査を行う

#### 「研究期間」

2019年8月7日～2020年3月31日まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

#### (1) 患者背景

年齢、性別、抗凝固薬名、背景疾患（抗凝固薬の内服理由）、併用抗血小板薬名、Hb 値等

#### (2) 病変背景

病変部位、肉眼型（LST-G、LST-NG、隆起型）

#### (3) 治療成績

抗凝固薬・抗血小板薬の休薬の有無や期間、施行時間等

#### (4) 後出血に関する情報

後出血の有無、後出血に対する止血術の方法、血栓・塞栓症発症の有無およびその詳細等

### 4. 外部への試料・情報の提供

本研究で得られたデータを二次利用することが有益であると大阪大学消化器内科学が判断した場合は、個人情報の保護に細心の注意を払い、個人識別情報とリンクしない形でデータの二次利用をすることがある。

### 5. 研究組織

大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学・教授 竹原徹郎

大阪国際がんセンター、大阪急性期・総合医療センター、県立西宮病院、関西労災病院、市立伊丹病院、市立豊中病院、箕面市立病院、八尾市立病院、西宮市立中央病院、市立吹田市民病院、大阪警察病院、関西労災病院、住友病院、済生会千里病院

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター消化器内科

研究責任者：副部長 井上 拓也

電話 06-6692-1201 内線 7228

研究代表者：大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学・教授 竹原徹郎